

## 甲西文化ホール 改修工事

助言者：井 島 均

提出日：令和7年 9月 1日

最も重要な発注者の設計要求、設計者のコンセプトが不明確であるが、事前協議書に示された内容と、添付図書（配置図、平面図、立面図、パース、付属資料（近隣写真））に基づいて、下記の項目について、ADとして意見を述べます。

## 1、建築物の外観について（形態・意匠・色彩・素材等）

既存建物は大屋根に覆われた変形片流れ屋根であり、増築部の建物についても、屋根を設けなにも、既存屋根、パラペットの意匠性を踏襲して、パラペットをデザインすべきと考えます。外装については、ALC板のタイル模様に吹付タイル仕上げとし、色調を既存のタイルに合っていますが、やはり信楽焼（現在はイナックス）のタイルをアスロックに貼り合わせる等の工夫が必要でしょう。単価的には少し上がりますが、甲西文化ホールの性格からして、象徴にはお金がかかることも示さなければならないと思います。

## 2、敷地内の施設について（駐車場・緑地等）

駐車場は現状の駐車場の通り、設備機器類を建物の屋上に乗せ、森北公園側の壁面をすっきりさせて、公園と一体感を出しています。

## 3、周辺地域との調和について

タイル張りの湖南省庁舎（今度建て替えとなる）、緑に囲まれたタイル張りの図書館、緑豊かな森北公園に挟まれた甲西文化ホール。文化の殿堂として威風堂々と立ち、素晴らしいホールから発する芸術や文化を湖南省の市民が教授できるようなホールとなりますことを願っています。

## 4、総評（湖南省らしさへの配慮）

（湖南省らしさへの配慮）とは。その前に、湖南省庁舎を含め、公共施設が集まるこの地域をいかにランドデザインするかということにつきます。

今度改修をする甲西文化ホールは、低層で大屋根に包まれた大ホール、傍に寄り添う小ホール、緑に囲まれたタイル張りの建物。建物は歴史を刻んでも文化は永遠に語り継がれる。

従って、質の高い建物でなければ生き残れないと考えます。

そういった観点から景観（外観）に限ってADとして、意見を述べました。